



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社ストライダーズ 上場取引所 東
 コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 CFO (氏名) 梅原 純 TEL 03 (5777) 1891
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,213	△14.9	133	△51.7	192	△33.8	128	△34.4
2020年3月期第3四半期	9,647	44.7	277	48.8	289	48.4	196	45.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 128百万円(△44.3%) 2020年3月期第3四半期 230百万円(72.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	15.21	15.20
2020年3月期第3四半期	22.62	22.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	5,266	2,287	42.8	265.97
2020年3月期	5,000	2,133	41.9	247.31

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,253百万円 2020年3月期 2,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,000	△17.1	105	△59.0	150	△40.9	110	△27.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	8,897,089株	2020年3月期	8,897,089株
2021年3月期3Q	425,139株	2020年3月期	425,109株
2021年3月期3Q	8,471,965株	2020年3月期3Q	8,690,651株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気の急激な落ち込みから回復に転じ、持ち直しの動きがみられるものの、感染の再拡大による短期的な下振れ懸念が出てきています。また、アジア経済につきましては、新型コロナウイルス感染症の封じ込めに成功した中国では、経済成長率が感染拡大前の水準に戻るなど世界経済の回復をけん引する役割に期待が高まっていますが、新型コロナの感染者数が東南アジアで最多のインドネシアや米国に次いで世界で2番目に多いインドなど、感染抑制に苦戦する国が多く、都市封鎖等による経済への打撃が長期化しています。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、引き続き、海外における新規投資機会の獲得活動を継続する一方、既存事業における経営の効率化、コロナ禍における事業戦略の検討等に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、ホテル事業や海外事業で需要減の動きが継続していること、当第3四半期連結会計期間において不動産売買取引が大きく減少したことにより、当第3四半期連結累計期間は売上高8,213百万円（前年同四半期比14.9%減）、営業利益133百万円（前年同四半期比51.7%減）、経常利益192百万円（前年同四半期比33.8%減）、税金等調整前四半期純利益204百万円（前年同四半期比28.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益128百万円（前年同四半期比34.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

前連結会計年度末より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法を見直し、事業セグメントの利益の算定方法を変更しております。なお、前年同四半期比較は変更後の算定方法に基づいております。

① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいてマンションオーナー向けのリーシング及び賃貸管理とマンション建物の受託管理を行うレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を営んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響としては、レジデンス事業においては既往賃貸借契約の更新率や賃料水準は引き続き維持されており、また、管理戸数も引き続き高水準を維持しましたが、不動産売買事業における取引が対前年同期比で大きく減少したことから、当第3四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は6,801百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業利益は231百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

② ホテル事業

ホテル事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。成田ゲートウェイホテルは、新型コロナウイルス感染症の無症状者・軽症者向け療養施設として、4月18日から千葉県に貸し出し、以降、一般の利用者を受け入れていないことに加え、倉敷ロイヤルアートホテルでは、ホテル宿泊者数が対前年同期比で大きく減少する等、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けましたが、特に当第3四半期連結会計期間には政府や自治体による観光業支援政策の効果が大きく、当第3四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は733百万円（前年同四半期比35.9%減）、営業利益は42百万円（前年同四半期比70.2%減）となりました。

③ 海外事業

海外事業につきましては、インドネシアにおいてPT. Citra Surya Komunikasiが主として日系企業向けに広告代理店業務を行うほか、シンガポールにおいてStriders Global Investment Pte. Ltd.が投資事業を行っております。PT. Citra Surya Komunikasiにおいては、連結決算上の取り込みが3か月遅れの2020年1月～9月の実績となりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、既存顧客等との取引が大幅に落ち込んだことから、当第3四半期連結累計期間の海外事業の売上高は397百万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。売上原価及び販売費及び一般管理費の抑制により営業損失は5百万円（前年同四半期は営業利益15百万円）となりました。

④ その他

その他につきましては、モバイルリンク株式会社において、車載端末システムの開発、販売を、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、M&Aに関するコンサルティング業務を、有限会社増田製麺において、中華麺等の製造販売を行っております。また、株式会社みらい知的財産技術研究所、株式会社アマガサについては、持分法適用関連会社として損益の一部を取り込んでいますが、持分法投資損益となるため、営業損益には含まれておりません。なお、株式会社アマガサについては、同社株式を2020年12月に一部譲渡したことに伴い、当第3四半期連結会計期間末から、持分法適用の範囲より除外しております。

モバイルリンク株式会社及び有限会社増田製麺において新型コロナウイルス感染症の影響から受注が減少した結果、当第3四半期連結累計期間のその他の売上高は280百万円（前年同四半期比35.1%減）、営業利益は13百万円（前年同四半期比73.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ323百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が466百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は2,016百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物(純額)が50百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,077百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円減少いたしました。これは主に買掛金が131百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,901百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が417百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益128百万円、持分法適用範囲の減少による増加51百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.8%(前連結会計年度末は41.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月11日の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました内容に変更はありません。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,200,502	2,666,509
売掛金	300,342	198,334
有価証券	51,107	52,421
たな卸資産	297,846	239,183
その他	109,857	122,811
貸倒引当金	△32,386	△28,907
流動資産合計	2,927,269	3,250,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	933,374	882,963
土地	348,663	348,663
その他(純額)	101,398	107,729
有形固定資産合計	1,383,436	1,339,357
無形固定資産		
のれん	160,260	146,166
その他	22,829	18,832
無形固定資産合計	183,090	164,999
投資その他の資産		
投資有価証券	303,411	307,532
関係会社株式	81,811	89,216
繰延税金資産	47,004	41,283
その他	74,575	74,125
貸倒引当金	△285	△285
投資その他の資産合計	506,517	511,873
固定資産合計	2,073,044	2,016,229
資産合計	5,000,313	5,266,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,329	94,787
短期借入金	97,853	93,108
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	158,735	150,376
前受収益	203,483	179,895
未払費用	95,508	98,297
未払金	82,664	61,185
未払法人税等	48,515	60,061
賞与引当金	32,958	20,358
預り金	129,097	125,410
金利スワップ	21,763	16,912
その他	160,798	117,145
流動負債合計	1,317,708	1,077,539
固定負債		
社債	320,000	270,000
長期借入金	729,600	1,146,949
退職給付に係る負債	58,015	54,166
長期預り敷金保証金	221,000	195,408
繰延税金負債	164,814	160,548
その他	55,506	74,178
固定負債合計	1,548,936	1,901,250
負債合計	2,866,645	2,978,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,583,825	1,583,825
資本剰余金	107,616	107,616
利益剰余金	592,962	747,516
自己株式	△144,839	△144,848
株主資本合計	2,139,565	2,294,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,092	△9,495
繰延ヘッジ損益	△21,432	△16,690
為替換算調整勘定	△3,503	△9,353
退職給付に係る調整累計額	△6,336	△5,284
その他の包括利益累計額合計	△44,364	△40,823
新株予約権	3,402	3,402
非支配株主持分	35,065	31,105
純資産合計	2,133,668	2,287,793
負債純資産合計	5,000,313	5,266,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	9,647,288	8,213,191
売上原価	7,640,286	6,652,449
売上総利益	2,007,002	1,560,742
販売費及び一般管理費	1,729,822	1,426,930
営業利益	277,179	133,811
営業外収益		
受取利息	2,651	2,072
受取配当金	2,247	272
受取手数料	15,731	27,552
有価証券売却益	500	926
為替差益	733	—
持分法による投資利益	5,877	—
助成金収入	—	100,462
その他	3,020	6,507
営業外収益合計	30,763	137,794
営業外費用		
支払利息	10,236	11,307
社債利息	1,312	1,869
持分法による投資損失	—	53,762
社債発行費	4,046	—
為替差損	—	9,482
その他	2,415	3,182
営業外費用合計	18,010	79,604
経常利益	289,931	192,001
特別利益		
関係会社株式売却益	—	6,157
持分変動利益	—	4,958
償却債権取立益	56	—
特別利益合計	56	11,116
特別損失		
固定資産除却損	10	778
関係会社株式評価損	4,376	—
その他	0	33
特別損失合計	4,386	811
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	285,601	202,306
匿名組合損益分配額	—	△2,527
税金等調整前四半期純利益	285,601	204,833
法人税、住民税及び事業税	71,300	81,885
法人税等調整額	△2,573	△4,266
法人税等合計	68,726	77,618
四半期純利益	216,874	127,214
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	20,301	△1,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,573	128,871

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	216,874	127,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,727	2,313
繰延ヘッジ損益	5,525	4,742
為替換算調整勘定	△1,163	△7,880
退職給付に係る調整額	2,467	2,062
その他の包括利益合計	13,556	1,237
四半期包括利益	230,431	128,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,062	132,413
非支配株主に係る四半期包括利益	23,368	△3,960

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はございません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,434,645	1,142,797	636,861	9,214,304	432,984	9,647,288	—	9,647,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	374	3,624	3,998	6	4,004	△4,004	—
計	7,434,645	1,143,172	640,485	9,218,303	432,990	9,651,293	△4,004	9,647,288
セグメント利益	221,515	143,330	15,248	380,094	49,543	429,637	△152,458	277,179

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△152,458千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,801,922	732,874	397,561	7,932,358	280,833	8,213,191	—	8,213,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	240	—	240	—	240	△240	—
計	6,801,922	733,115	397,561	7,932,599	280,833	8,213,432	△240	8,213,191
セグメント利益 又は損失(△)	231,812	42,650	△5,245	269,217	13,025	282,243	△148,432	133,811

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△148,432千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法を見直し、事業セグメントの利益の算定方法を変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間セグメント情報は、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。